

サンプル

▼政策分野の概況と課題を説明し、重点的に検討する事項の絞り込みを実施

1. 健康管理【例】

政策分野の概況と課題

概況

- ・全町民の放射線による健康被害による健康被害の未然防止のため、県の検査に加え、町独自の検査を実施。
- ・健康管理手帳の配布をおこなった。
- ・食品検査は上竹倉庫(二本松)での検査を実施するとともに、7月から町内での検査を実施。
- ・避難生活に伴う健康悪化の防止に向け、健康体操や巡回訪問相談等を実施

主な課題

- ・内部被ばく検査等の未検査者の解消(特に県外)【1～5、9】
- ・看護師や介護事業者、職員の不足【30、33、34、36】
- ・町民による自主的な健康づくり活動への移行【37】
- ・生きがいづくり活動についての町民ニーズの把握【41】

検討事項

- ・未検査者の解消に向けた方策【1～5、9】
- ・自主的な健康づくり活動への啓発方法【37】
- ・広報紙やHPなど役場の情報発信の改善方法【41】
- ・町民のニーズの把握方法【41】

政策分野(健康管理分野)の概況

政策分野(健康管理分野)の主な課題。【】内の番号は進行管理表(資料進2-3)の左端記載の番号

政策分野の目的(健康被害の未然防止、健康増進など)を達成するために、担当課として重点的に検討が必要と考えている事項

▼政策や施策の目的を達成するために、重点的に検討すべき事項に焦点を絞って議論を実施

・施策の中で重点的に検討すべき課題について、解決策・改善策を検討し、今後の取組みに反映。
「政策分野の概況と課題」(前ページ)で重要な課題や検討事項とした内容は赤字で記載。

・進行管理表(資料進2-3)の左端の番号を記載。
・「政策分野の概況と課題」の重要な課題や検討事項は赤字。

施策	課題	今後の取組み	番号
1. 全町民の放射線による健康被害の未然防止、健康不安の軽減			
中事業 (1) 内部被ばく検査測定器の導入と検査の実施	・内部被ばく検査の検査率は約6割 ・青森、広島、長崎等で検査可(要予約) ・町が実施する検査は同時に実施可能	・検査率の向上。特に県外 ・県外の検査機関の確保 ・県が実施する検査は同時に実施不可	1, 2, 3
中事業 (2) 甲状腺検査の継続的実施		・検査の継続実施 ・県に郵送先データを提供	4, 5, 6
中事業 (3) 健康診断等の検査機会の確保及び検査項目の拡充	・原発避難者特例法による乳幼児及び妊婦健診の実施 ・全国で県民健康管理調査を実施中	・県外の妊婦健診は情報が入ってこない、対応できない ・検査率の向上 ・県外検査機関の拡充	7, 8, 9
中事業 (4) 生涯にわたる健康管理のための手帳の作成	・浪江町健康手帳を21, 212人に配布 ・仮設住宅等で記帳の説明会を実施。25回、800人参加	・借上げ住宅入居者等への記帳の啓発	10, 11
中事業 (5) 専門家による健康管理相談機会の充実	・健康管理調査委員会を5月に実施	・県との体制の構築が課題	12, 13
中事業 (6) 町民の命を守る健康管理、医療保障の法制化の実現	・医療保障の法制化実現に向けた国への要望を実施中 ・県で18歳以下の医療費無料化を実施中	・双葉郡、県との連携 ・小学校の段階では自治体間の差がある ・転出者は医療費無料化の対象外	14, 15
2. 放射線に対する理解の向上～正しく理解し、対処する～			
中事業 (1) 全世帯への放射線量計の配布による町民の放射線管理体制の構築	・全世帯に線量計を配布済み ・6月より点検(校正)を実施(毎年) ・希望者に個別対応(メーカーフリーダイヤル) ・仮設住宅での説明会開催(6月5日より)	・仮設住宅での業者による回収、点検(校正)の実施	16, 17
中事業 (2) 放射線に対する科学的見解の周知(多様な見解を尊重)	1. (5)と同内容のため、省略		18, 19